

## 「JFN賞2018」各賞決定！

### ■企画部門大賞

FM GUNMA 「群馬マスコミ 3 社、共同社会キャンペーン  
”みて・きいて・よんで”家族で話そう！特殊詐欺ゼロキャンペーン  
(2017年10月11日～20日)」

### ■CM部門大賞

FM GUNMA 「群馬マスコミ 3 社特殊詐欺ゼロキャンペーン  
『無許可』」(40秒)

### ■CM統一部門 ピンゴルフ賞

FM 佐賀 「耳をすまして」(20秒)

### ■JFN学生ラジオCMコンテスト2018 最優秀賞

長坂 祥太さん(静岡デザイン専門学校/20秒)

TOKYO FM をはじめ全国 FM 放送協議会 (JFN 会長：富木田道臣) 加盟 38 社が、放送活動並びに新規事業の活性化とクオリティ向上を目指し、社会的影響力や企画力等、JFN グループ全体の発展に大きく貢献した事績を表彰する「JFN 賞 2018」の各賞が決定し、7月19日(木)に TOKYO FM ホールにて表彰式が行われました。

受賞作品は、まず「企画部門」大賞には、FM GUNMA 「群馬マスコミ 3 社、共同社会キャンペーン”みて・きいて・よんで”家族で話そう！特殊詐欺ゼロキャンペーン (2017年10月11日～20日)」が選ばれました。優秀賞には、TOKYO FM 「TOKYO FM SUMMER CAMPAIN 『夏を、遊びツクセ！～PLAY IT OUT SUMMER～Supported by NEW NISSAN X-TRAIL』」、FM 沖縄 「旧盆特別番組 How to うちなー嫁」がそれぞれ選ばれました。

次に、「CM 部門」の最優秀作品に贈られる「CM 大賞」には、FM GUNMA 制作の「群馬マスコミ 3 社特殊詐欺ゼロキャンペーン『無許可』」(40 秒)、第 1 部門最優秀賞 (20 秒以内) には、TOKYO FM の「毛」(20 秒)、第 2 部門最優秀賞 (21 秒以上) には FM GUNMA の「夏の冬眠」(40 秒) がそれぞれ選ばれました。

また、JFN 加盟各社が制作し、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回はピンゴルフジャパン株式会社の協賛を得、「ピンゴルフ賞」を競い、FM 佐賀の「耳をすまして」(20 秒) が選出されました。

特別審査員独自の視点から高い評価を認められた作品に対して贈られる弘兼憲史賞、谷山雅計賞、箭内道彦賞には、TOKYO FM 制作の「お静かに」(20 秒)、FM 香川制作の「ウチの家 オバ

チャーン」(20秒)が弘兼憲史賞を、FM熊本制作の「どちらも」(20秒)が谷山雅計賞を、FM山口制作の「実車の無い展示会開催中」(20秒)が箭内道彦賞に、それぞれ選ばれました。

全国の学生が、自身の学校をPRするラジオCMコピーを競う「JFN学生ラジオCMコンテスト2018」は7回目を迎え、静岡デザイン専門学校の長坂祥太さんが最優秀賞を、群馬県立県民健康科学大学の吉田麻鈴さん、名古屋外国語大学の稲垣宇乃さんがそれぞれ優秀賞を受賞しました。

今回の「JFN賞2018」について、**特別審査員長の弘兼憲史氏**は、「毎回、審査をする際、明るい雰囲気作りを心掛けています。日本を代表する賞の選考会等では、険悪になる時もあると聞いたことがあります。自分の推した作品が否定されると、審査員の人格否定に感じる人もおられるようです。JFN賞では、一度も、険悪になったことも揉めたこともなく、いつも楽しく審査しています。また、審査方法もオープンで、制作者の前で公開審査を行う。ここが良い、ここが足りないという意見を奇譚なく伝え、審査しています。それを、制作者が直接聞くことで、また来年に生きてくるのかなと思っています」と述べました。

自身で選出した弘兼憲史賞受賞作品、TOKYO FM制作「お静かに」(ピンゴルフジャパン株式会社/20秒)、FM香川制作「ウチの家 オバチャーン」(医療社団法人しん治歯科医院/20秒)については、「今年は特別に2作品を選ばせて頂きました。私はゴルフが大好きで、今回の統一部門はとても楽しみでした。ゴルフをしている人は分かると思うのですが、一番緊張するのはバーディパットです。『お静かに』という部分が、その緊張を良く表していました。そして、ピンパターの『ピン』といういい音がして、その後に『間(ま)』があった。この『間』が、(ゴルフボールが転がる)6mくらいの距離に感じました。もう一作品は、昨今、『訪問医療』は話題になりますが、この作品のテーマは『訪問歯科』『鹿いるで〜』というダジャレが面白く、ウイットに富んでいました」と述べました。

**特別審査員の谷山雅計氏**は、「全体を通して、非常に素晴らしい作品が幾つもありましたが、FM GUNMAの圧勝であったと感じました。グランプリ作品の素晴らしさは知恵と実行力。『無許可』というアイデアも素晴らしいし、実行するためには、警察に働き掛け、了承して貰うことが必要です。実際、犯人はまだ捕まっていないと聞きました。知恵ばかりが目立ちますが、実行力もないといけません。こんな面白いことを考えたけど、事情があって実現できないと言い訳するのはカッコ悪い。同じだけ実行力を磨くことが必要で、その両面において素晴らしかったと思います。来年、再来年と、知恵と実行力を備えた作品が幾つも出て、審査員が頭を悩ますようなラジオクリエイティブになれば良いと思います」と述べました。

自身で選出した谷山雅計賞受賞作品、FM熊本制作「どちらも」(流通団地コデラ/20秒)については、「今回選んだ作品は、色々な面を持った20秒CMだと思いました。普通、20秒CMというのはシンプルな構成にして、何か一つを残そうとすることが多い。しかし、このCMには様々な面があり、単純に聴くと、ほのぼのとした親子の会話ですが、良く聴いてみると、LGBT、性の多様化も考えさせられる。そして、聴いた後に、これはどういうことをメッセージしたんだろうかと心に残っていく。羊の皮を被ったオオカミのような、新しいチャレンジだと思いました」と述べました。

同じく、**特別審査員の箭内道彦氏**は、「FM GUNMAの二連覇は『この野郎! (笑)』という気持ちですが、本当に素晴らしいCMです。先程、JFNの富木田会長の挨拶にもありましたが、FM GUNMAの前社長の『社長に就任してからCM大賞を取るまで7年掛かった』というコメントは、ただの7年ではなく、きっと社員が一丸となった7年だったと思います。ここからは、各局の皆さんが『打倒FM GUNMA』で、次はうちが取るぞとだけ思っていたら、来年がもっと素晴らしくなるんじゃないかと思っています」と述べました。

自身で選出した箭内道彦賞受賞作品、FM山口制作「実車の無い展示会開催中」(山口三菱自動車販売株式会社/20秒)については、「このラジオCMは、今まで聴いたことがないくらい、とにかく謎だらけで、最後まで謎のまま終わっています。制作者にお話を伺ったところ、クライアントの提案ということでした。制作者と企業が力を合わせて素晴らしいCMを作るのだと思いました。今年、2018年は、戊辰戦争から150年ということで、私は福島出身ですが、山口の方に賞を贈ることができてとても嬉しいです」と述べました。

各賞の結果は次の通りです。

## ◎JFN 賞・企画部門

「JFN 賞・企画部門」は、加盟各局がエントリーした放送・事業・営業活動事例の中から、JFN 各委員会委員長から成る「JFN 賞選考委員会」にて選定されました。今年の審査対象は、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの間、JFN 加盟各局が活動した作品です。今年は、エントリー 28 社 51 件の中から、以下の各賞が決定しました。

### ■大賞

**FM GUNMA/群馬マスコミ 3 社、共同社会キャンペーン”みて・きいて・よんで”**

**家族で話そう！特殊詐欺ゼロキャンペーン（2017 年 10 月 11 日～20 日）**

被害が後を絶たない特殊詐欺減少を目指し、上毛新聞、群馬テレビと共同で実施した特殊詐欺キャンペーン。注意喚起を強く発信するために、警察協力のもと、実際の犯人の声を入れているのスポットを作成し、番組では被害に遭ったおばあちゃんに出演してもらい、被害の実態や巧妙な詐欺手口の犯人とのやり取りの詳細をリアルに表現することで、啓発メッセージを強く発信した。このキャンペーンに対して、群馬県警からは感謝状を贈られた。

（番組部門申請）

### ■優秀賞

**TOKYO FM/TOKYO FM SUMMER CAMPAIGN 『夏を、遊びつくせ！～PLAY IT OUT SUMMER～Supported by NEW NISSAN X-TRAIL』**

日産自動車の新たなデジタルターゲットの獲得を目標に、TOKYO FM の全ワイド番組、Web、イベントを活用して、アウトドアを楽しむためのキャンペーンを展開した。特設ページにリスナーを誘導して DMP（＝インターネット上に蓄積された様々な情報データを管理するプラットフォーム）を設置、リスナー情報をクライアントサイトと共有する、全く新しいラジオの活用のスタイルを実現した。

（営業部門申請）

### ■優秀賞

**FM 沖縄/「旧盆特別番組 How to うちなー嫁」**

県民にとって関心の高い沖縄の伝統行事「旧盆」を取り上げ、重箱の作り方やお供えの仕方など、今更聞けないしきたりを、専門家に丁寧に解説してもらいながら悩みを解決する番組を制作。専門家と新米うちなー嫁（パーソナリティ）との構成・演出により、地域の伝統行事を若い世代に伝えていく、ローカルメディアが取り組むべき貴重な番組となった。

（番組部門申請）

### ■奨励賞

**FM 長崎/「Insheart スペシャル・プログラム**

**～現役医師音楽ユニットの心と身体と音楽と～**

現役男性医師の二人からなるユニット Insheart は、二足のわらじに拘り、病院の治療だけではなく、心から元気になって欲しいという思いから音楽を届けている。医師不足の中、決して楽ではない活動の中で、彼らのルーツや楽曲の背景などに迫る内容の特別番組は、リアリティのある表現で、強く真っ直ぐな思いの伝わる魅力的な番組となった。

（番組部門申請）

### ■奨励賞

**FM 鹿児島/ジャックアワー10th ローソンタイアップパン 6 連続リリース企画**

FM ラジオの DJ がサプライズで鹿児島県の高校の校内放送をジャックする企画「ジャックアワー」は今年 10 周年を迎えた。10 周年を記念して、高校生の「自分の学校の特徴」をイメージしたパンを制作する「ベーカリー甲子園」を実施し、ローソンとタイアップして隔週にわたり販売。テレビ CM の出演や県知事へのプレゼンを経験し、参加学生のやりがいやスポンサーの地域貢献など、顧客満足度の高い企画となった。

（営業部門申請）

## ■奨励賞

JFNC／「スキマから聴こえてくるラジオ」スペシャル  
『AI か、人間か、ラジオパーソナリティの未来～』  
2017年7月29日（土）26：00-27：00 OA

あらゆる分野が IoT 技術や AI の活用に知恵を絞り、勢いが止まらない中、個性・人間力を売りにするラジオパーソナリティは、AI に替るものではないと考えて良いのか。現役の人気パーソナリティが専門家への取材をもとにモノログ形式で「人間らしさ」を考えていく番組を構成。LINE 上での女子高生 AI 「りんな」を登場させ、最後には活字だけのコミュニケーターを超え、声を持ち始めたことで、人工知能に自ら近づいているのは人間の方ではないのかという仮説をリスナーに提起する番組となった。

（番組部門申請）

## ■特別賞

TOKYO FM／『山下達郎のサンデー・ソングブック』25周年プロジェクト（『山下達郎のサンデー・ソングブック』プレミアムライブと、雑誌『BRUTUS』特集号）

放送開始 25 周年目を迎え、周年プロジェクトとして昨年 11 月に TOKYO FM ホールでプレミアムライブを実施した。また、ラジオとコラボした雑誌『BRUTUS』では、「山下達郎のブルータス・ソングブック～最高の音楽との出会い方」と題し、1300 回を超える放送の中から、ジャズやジャパニーズロックをテーマとして厳選した番組の書き起こしや、番組年表、インタビューまでを網羅した、充実した内容の特集号を発売した。初版 11 万部は完売、2 万部を増刷する快挙となった。

（番組部門申請）

## ■地域賞

FM 青森／青森県応援プログラム「アオモリズム 2018」

青森県の人口は、1983 年をピークに減少が続いており、少子・高齢化や働く世代の県外への流出などの要因から、2040 年には 93 万人まで減少すると予想されている。一方、本県の良さを知り、県内就職した学生やセカンドライフの土地として選択した者、就農支援事業などをきっかけに新たな可能性を求めて新生活をスタートした若者も存在する。番組では、「移住」をテーマに、移住地として選んだ理由やメリット、デメリットなどを取り上げ、移住への機運の醸成に繋がる放送とした。

（番組部門申請）

## ■地域賞

FM 仙台／「河北新報創刊 120 周年×エフエム仙台開局 35 周年 合同企画  
伊達政宗公生誕 450 年記念 政宗公 御城下巡検 ～殿、  
ブラキムラ でござる！～」

伊達政宗公生誕 450 年を記念し、河北新報社とタイアップして、ラジオと新聞を絡めた「街歩きツアー」を実施した。仙台街歩きの専門家がコースを監修し、伊達武将隊も帯同するプレミアムな内容で、紙面に行程を地図として掲載し、その地図を見ながらラジオ特別番組を聴くと、ツアーに参加した気持ちになれる「新聞+ラジオ」のコラボ企画。専用ホームページでアーカイブすることで、参加出来なかった応募者や、観光や歴史に興味がある人達への還元も実現した。

（営業部門申請）

## ■地域賞

FM とやま／ラジオの力で障がい者を応援！「FM とやま障がい者支援活動」

障がい者の社会的自立活動を応援するためにラジオ局で出来る事は何かを考え、リスナーの理解促進、社会への受け入れの拡大と就業の支援を図ることを目的に企画を実施した。特別支援学校の児童生徒を対象に、聴く力・創造力を養うために開催した朗読番組の放送の感想文・感想図画コンクール、障がい者の家族や支援者の声を紹介する特別番組、就労継続支援事業所への CD ラジオ寄贈など、社会貢献度の高い内容であった。

（営業部門申請）

## ■地域賞

### FM 滋賀／近江文化発見・発信事業

滋賀県では歴史小説の司馬遼太郎作品を通じて、県民が改めて「滋賀の持つ豊かさ」を考え、滋賀への愛着を深めると共に、その魅力を県内外に発信する目的から、「司馬遼太郎作品の心に残るシーンコンクール」を実施した。番組では入賞作品の紹介に加え、それらを通して滋賀の素晴らしい文化・歴史を届けることで、滋賀県愛の醸成を図ることを意識した。

(番組部門申請)

## ■地域賞

### FM 熊本／FMK ぼくのわたしの熊本城応援歌 歌詞募集

平成 28 年の熊本地震で被災した熊本県民のシンボル「熊本城」の復興を願い、県内の小中学生から応援歌の歌詞を募集し、入賞歌詞にはプロの作曲家亀山法男氏が曲として仕上げ、表彰式を兼ねてプロ歌手の亀山勝子氏に歌を披露してもらった。県民の関心が高く、子供達の素晴らしい歌詞が集まり、地元密着媒体として企画の意義が感じられる内容となった。

(営業部門申請)

## ◎JFN 賞・CM 部門

JFN 加盟 38 社の CM 制作力の向上と、CM を通じて地域社会の文化に貢献する事を目的として優秀 CM 作品を表彰するのが「JFN 賞・CM 部門」です。今年の審査対象は、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの間、JFN 加盟各局が自社で企画または制作、放送した CM です。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力 (CM 効果) が審査基準となります。今年は、エントリー総数 124 本の中から、特別審査員長の弘兼憲史氏 (漫画家)、特別審査員の谷山雅計氏 (コピーライター)、箭内道彦氏 (クリエイティブディレクター) をはじめ、企業審査員、JFN 各社の CM 制作担当者 38 名による「公開審査会」で、以下の各賞が決定しました。

### 【CM 大賞】

FM GUNMA 「群馬マスコミ 3 社特殊詐欺ゼロキャンペーン『無許可』」  
(上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬／40 秒)

### 【第 1 部門 最優秀賞】※20 秒以内 (エントリー数=61 本)

TOKYO FM 「毛」(株式会社エフエム東京／20 秒)

### 【第 2 部門 最優秀賞】※21 秒以上 (エントリー数=25 本)

FM GUNMA 「夏の冬眠」(G.K.works／40 秒)

### 【統一部門 ピンゴルフ賞】 エントリー数 20 秒=38 社 38 本

FM 佐賀 「耳をすまして」(ピンゴルフジャパン株式会社／20 秒)

### 【JFN 学生ラジオCMコンテスト 2018】

最優秀賞 長坂祥太さん (静岡デザイン専門学校／20 秒)

優秀賞 吉田麻鈴さん (群馬県立県民健康科学大学／40 秒)

優秀賞 稲垣宇乃さん (名古屋外国語大学／20 秒)

### 【奨励賞】

#### ○地域ブロック賞

##### ・北海道・東北

FM 北海道 「エフエム北海道 防災 CM『防災ラジオ』」(株式会社エフエム北海道／60 秒)

##### ・関東・甲信越・静岡

FM 栃木 「食べ比べ」(青源味噌株式会社／10 秒)

##### ・中部・北陸

@ FM (FM AICHI) 「向き合って」(名古屋鉄道株式会社／20 秒)

##### ・近畿・中国・四国

FM 徳島 「花嫁の手紙」(淡路ファームパーク イングランドの丘／40 秒)

・九州・沖縄

FM 鹿児島 「女将の思い出」(指宿白水館／90 秒)

**【制作者審査員賞】**

FM GUNMA 「群馬マスコミ 3 社特殊詐欺ゼロキャンペーン『無許可』」  
(上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬／40 秒)

**【弘兼憲史賞】**

TOKYO FM 「お静かに」(ピンゴルフジャパン株式会社／20 秒)

FM 香川 「ウチの嫁 オバチャーン」(医療社団法人しん治歯科医院／20 秒)

**【谷山雅計賞】**

FM 熊本 「どちらも」(流通団地コデラ／20 秒)

**【箭内道彦賞】**

FM 山口 「実車の無い展示会開催中」(山口三菱自動車販売株式会社／20 秒)

※お問い合わせ：全国 FM 放送協議会 (JFN) 事務局 伊達木／吉垣内 (TEL 03-3221-0246)